



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

ホバリング

道路の真上で停止飛行、住宅地上空で夜間飛行訓練、 やりたい放題のオスプレイ 横田基地配備は撤回を



7月9日、日本共産党宮本徹衆議院議員と、横田基地周辺自治体の党市議、都議で、防衛省からオスプレイに関する聞き取りを行いました。

日野市議団からは清水とし子議員が参加しました。

(写真：防衛省から聞き取りを行う日本共産党議員)

現在、横田基地には5機のオスプレイが飛来しています。聞き取りに参加した市議からは「清瀬では団地上空を旋回飛行し、市長も二度とこのような訓練をしないよう伝えたいと表明した」「オスプレイ等が昼夜を問わず訓練を行っており、非常に危険」「最初は、横田基地の東側でヘリモード訓練、西側では飛行モードと説明していたが、全く守られていない」「志木街道の真上でヘリコプターのようにホバリング(停止飛行)

していた」など、やりたい放題の実態が次々と出されました。

防衛省の担当者は「地元に与える影響が最小になるよう要請する」と答えました。

宮本徹衆議院議員は「情報提供を求めても答えず、やりたい放題の訓練を行っている。これでは主権国家とは言えない」とアメリカ軍に対してもっと毅然とした対応をとるよう防衛省に求めました。

保育園待機児問題 積極提案重ねて市を動かす

今年4月1日現在の保育園待機児は、認可保育園に入れなかった子ども（旧基準）は246人、そのうち認証保育園にも入れなかった子ども（新基準、いわゆる待機児）は、139人に上りました。

市が来年計画している定員増（390名）では、足りません。特に1歳児は深刻です（下表参照）。

6月議会で日本共産党は、待機児解消の

ために、認可保育園の定員をさらに拡大するよう求めました。

これに対して子ども部長は「4月の状況を踏まえて、390人から415人へと、25人の定員を拡大する」「1歳児の定員を厚くする配置計画とする」と答弁、日本共産党が提案している方向で、見直しが進められたことが明らかになりました。

	0才	1才	2才	3才	4才	5才	合計
待機児（新基準）	31人	79人	25人	4人	0人	0人	139人
（旧基準）	55人	134人	46人	9人	1人	1人	246人
来年4月 定員増予定	33人	68人	71人	81人	81人	81人	415人

今、保育園に入れない子どもたちの緊急対策を

今年4月に保育園に入れず退職した保護者が2人いることが、市の状況調査で明らかになっています。

日本共産党はこうした事態をなくすために、新設保育園の空きスペースなどを利用して待機児を受け入れる緊急対策を講じる

よう求めました。

子ども部長は「東京都の緊急一時受け入れ事業や小規模保育事業の実施について、関係事業者と調整を図りながら保育定員の拡大をさらに進めてまいります」と答えました。

畑だより・・・

今年は野菜の成長が早く、もうトウモロコシと枝豆を収穫しました。キュウリはうっかりすると、大きな「ウリ」になってしまいます。

